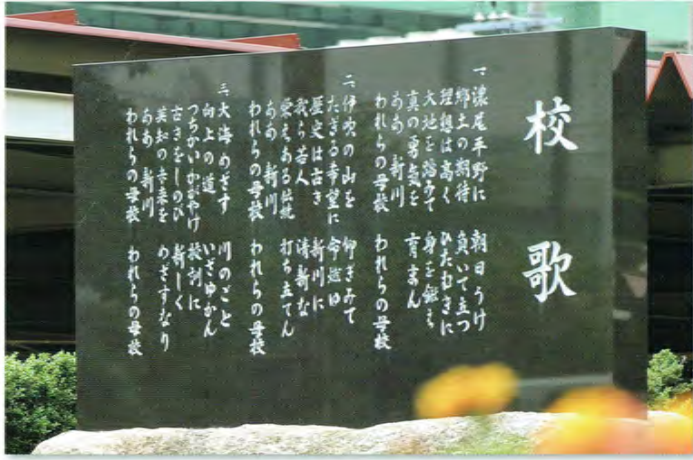


校歌の由来

1・2・3回生がそれぞれ作った学年歌から、全校生徒・教職員の投票で1回生の学年歌を校歌として選びました。新川高校の校歌は、生徒手作りの誇れる校歌です。



作曲 中村友美
草田典子



校章のいわれ

新川開墾200年にあたる昭和61年開校にちなみ、新川の「S」と学校(School)の「S」を図案化し、新川の流れとともに社会に雄飛する姿を象徴しています。



通学区域別生徒数

通学区域	男	女	計	通学区域	男	女	計
名古屋市 西区	110	61	171	あま市	32	19	51
名古屋市 北区	31	12	43	海部郡	18	5	23
名古屋市 中村区	9	7	16	一宮市	42	52	94
名古屋市 その他	5	1	6	江南市	1	1	2
清須市	94	67	161	津島市	1	0	1
北名古屋市	113	75	188	岩倉市	1	5	6
稲沢市	97	58	155	西春日井郡	1	2	3
				その他	4	10	14

みんなに愛されるキャラクター(27回生の作品)わかば丸も新制服を着ています。



愛知県立 新川高等学校

全日制課程
普通科 24学級
尾張2群Aグループ

令和6年度 学校案内(2024)

確かな学力を育成し
心と体を鍛え
あなたの未来を応援します



ここからの未来に!



新川キャラクター
わかば丸

アクセス

- ◆名鉄 犬山線 上小田井駅 下車 南西 2.5km(自転車約13分)
中小田井駅 下車 西 1.9km(自転車約10分)
名古屋本線 須ヶ口駅 下車 北東 3.2km(自転車約17分)
- ◆地下鉄 鶴舞線 上小田井駅 下車 南西 2.5km(自転車約13分)
- ◆JR東海 東海道本線 枇杷島駅 下車 北東 2.1km(自転車約11分)
- ◆東海交通事業 城北線 尾張星の宮駅 下車 南東 0.8km(徒歩約9分)
- ◆市バス 新木町 下車 南西 0.5km(徒歩約7分)

〒452-0901
愛知県清須市阿原北野18番地
TEL(052)400-1108 FAX(052)400-1126
<http://www.shinkawa-h.aichi-c.ed.jp>



自己を磨き、その努力を継続することで自分の成長を実感する、そんな教育を実践していきます。

スクールポリシーより

このような生徒を求めます

- 自己の能力をさらに高め、これまで以上の自分になりたいと考えている人
- 学習活動に加えて、部活動や学校行事などにもひたむきに頑張ることができる人
- 何事にも主体的に活動できる人、またはそのようなになりたいという人
- 理想の自分を思い描き、努力できる人

このような生徒を育てます

- 物事に主体的に取り組み、他者と共生し、誰とでも協働できる若者
- 自らの幸せを実現しつつ、社会に貢献していこうとする姿勢をもつ若者
- 将来にわたって学び続け、成長し続けていくことができる若者

教育目標

本校では「真理と正義を愛しひたむきに学ぶ若人」「勤労と責任を重んじいつくしみにあふれる若人」「心と体を鍛えたくましく生き抜く若人」の育成に努めています。そのために、日常の学習活動、部活動、学校行事、課外活動など全ての学校生活を有意義なものにし、「物事に主体的に取り組み、他者と協働する姿勢」「社会に貢献していこうとする意欲」「将来にわたって学び続け、成長し続ける態度」などを身につけ、生徒一人ひとりの成長を促します。



校訓

充実した学習・進路指導

- 50分×7限授業（週33コマ）で授業時周数を確保し、きめ細やかな学習指導を行います。
- 少人数授業・習熟度別授業（英・数）で、一人一人の能力を最大限に伸ばします。
- 進路適性検査、各種ガイダンス、進路講演会、大学説明会等、1年次から計画的なキャリア教育を行います。
- 補習（早朝・業後・夏休み・冬休み）、大学入学共通テスト対策・小論文指導等、手厚い指導で進路目標の実現を図ります。
- 毎日同じリズムで生活ができ、学習と部活動の時周をともに確保し、学習と部活動の両立を目指します。
- 土曜日には、「土曜講座」を開講し、きめ細やかな個別学習指導を行います。

3年間のカリキュラム（予定）

令和7年度入学者用 数字はコマ数（1週間の授業時周数）

1学年 学習習慣を身に付け、学力の基礎づくりに励みます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
共通	現代国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I・II	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	英語コミュニケーションI	論理・表現I	情報I	総合	H	R																

2学年 文系・理系に分かれ、進路目標に合った学習を進めます。

文系	論理国語	古典探究	日本史探究・世界史探究(選択)	公共	数学II	数学B・C	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭基礎	総合	H	R
理系	論理国語	古典探究	公共	数学II・III	数学B・C	化学基礎・化学	物理・生物(選択)	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭基礎	総合	H	R

3学年 希望するコースを選択することにより、進路希望の実現を目指します。

文I	論理国語	文学国語	古典探究	日本史探究・世界史探究(選択)	政治・経済	発展数学1	生物基礎	体育	英語コミュニケーションII	論理・表現II	総合	H	R	
文II	論理国語	古典探究	日本史探究・世界史探究(選択)	政治・経済	数学II	発展数学2	化学基礎	生物基礎	体育	英語コミュニケーションII	論理・表現II	総合	H	R
理系	論理国語	古典探究	政治・経済	数学II	数学C	発展数学3	化学	物理・生物(選択)	体育	英語コミュニケーションII	論理・表現II	総合	H	R

文I-3教科重点コース・文II-5教科重点コース

進路状況

国立四大	R6	R5	R4
名古屋大	3	2	
名古屋工業大	3	4	2
愛知教育大	4	3	5
豊橋技術科学大		1	
岐阜大	4	2	2 (1)
三重	7	8 (1)	10
室蘭工業大	1		
秋田大	1		1
山形大		1	
会津大	1 (1)		
群馬大	2 (2)		
横浜国立大	1		
山梨大		1	2
信州大	1 (1)		
富山大	3	4	1
金沢大	3		
福井大	4	7 (1)	15 (2)
滋賀大		1	1
奈良教育大			1
鳥取大			2
高知大	1		
徳島大	1	1	
長崎大	1		
宮崎大	1	1	
鹿屋体育大			2
鹿児島大	1		
琉球大	1		
国立大学合計	44 (4)	36 (2)	44 (3)

国公立大学 67名合格

公立四大	R6	R5	R4
愛知県立大	7	9	3 (1)
名古屋市立大	1	2	1
愛知県立芸術大	1		
岐阜県立看護大		1	1
秋田県立大		2	1
福島県立医科大	1		
都留文科大		1	1
前橋工科大		1	
三条立大	1 (1)	1	
長野大	2		
長野県立大		1	
公立諏訪東京理科大	1	2	1
富山県立大	4	1	2
公立小松大		1	1
福井県立大	1	1	3
京都府立大	1	1	
滋賀県立大	1	1	2
神戸市外国語			1
公立鳥取環境大		1	
高知工科大	1	2	1
下関市立大	1		
北九州市立		1	1
長崎県立			2
公立大学合計	23 (1)	29 (0)	21 (1)
国公立大学合計	67 (5)	65 (2)	65 (4)

短期大学等	R6	R5	R4
大学校等	1	1	4
国立短期大学	1	0	1
私立短期大学	1	5	2

()内は過年度卒業生の内数

※大学校 防衛大学校 1名 合格

名古屋大学	3名
名古屋工業大学	3名
愛知教育大学	4名
愛知県立大学	7名
岐阜大学	4名
三重大学	7名
福井大学	4名
はじめ、国公立大学に67名合格	

同志社大学	2名
立命館大学	11名
南山大学	64名
愛知大学	90名
名城大学	89名
中京大学	84名
愛知工業大学	65名

私立四大	R6	R5	R4
愛知大	90 (1)	94	136
愛知医科大	6	5	2
愛知工業大	65 (1)	80	64 (2)
愛知淑徳大	78	73	47
金城学院大	16	14	25
樹山女学園大	18	11	38
中京大	84 (8)	90	66 (1)
中部大	115 (4)	111	64 (2)
南山大	64 (2)	62	59
名城大	89 (3)	100 (5)	103 (13)
岐阜聖徳学園大	8	9	9 (1)
日本大学			2
明治学院大			1
同志社大	2	1	4 (3)
立命館大	11	5	10 (1)
関西学院大	2	1	2 (1)
その他	383 (19)	299 (7)	380 (16)
私立4年制大学合計	1031 (38)	955 (12)	1012 (40)

卒業生からのメッセージ

「人生は冒険や」

金沢大学 文系一括 西田 航作
(ブラッセル日本人学校)

私が受験勉強をするにあたり意識していたことは学校を最大限に活用することです。業後補習はほぼすべて参加し、土曜補習も自習ではなく授業を毎回受講し様々な問題に触れました。また、補習がない日でも最終下校時刻まで自習室に残り勉強をするという習慣をつけました。私は家での勉強になるとその音が大きく下がることを自覚していたので学校での自習時間はとても重要でした。私のおススメは視聴覚室です。

私は文Iコースで国語、英語、世界史とやることは決まっていたので、まずは共通テストにむけてこれらの演習をしていました。世界史が苦手でしたが授業で用いた教材だけをひたすら解いたところ大きく結果がついてきました。国語の冬補習では共通テスト本番と同じ時間配分で演習を行うので当日でも焦ることなく問題を解くことができました。学校の補習は偉大です。

文Iを選択した皆さんに知って欲しいのは共通テストの大切さです。国公立に行くのなら当然ですが、私立でも共通テスト利用入試という方法があります。一つも行けそうな大学が確定しているとその後のメンタルがとても楽になります。文Iだからこそ共通テストには力を入れてほしいと思います。

ここまで勉強について書きましたが、この生活を三年間していたわけではありません。三年生の7月まで野球を中心に生活を送っていました。私は野球を通して集中力、忍耐力を養うことができ、この力は受験において大きな武器になりました。夏休み後半からは文化祭の準備が始まりました。ガッツリ準備に参加したのが得勝することができたので喜びはとても大きかったです。受験勉強が大切なのは当然かもしれませんが思い出というのは勉強しても得られないものだと思います。行事にも全力で参加してください。私は9月の文化祭終了後から本格的な勉強を中心とした生活を本格的に始めましたが、高い集中力を持てはいるだけでも成績は上がります。

あきらめないことはとても大切です。私は第一志望の私立に落ちた翌日から金沢大学の対策を始めました。その時毛先生がマンツーマンで手厚い指導をしてくださいました。最初の結果は不合格でしたが三月の末になって追加合格という形で入学することになりました。何があるかわからない人生ですので最後まで勝負してください。

「受験生へのメッセージ」

名古屋大学 工学部 化学生命工学科 鈴木凜太郎
(清須市立清洲中学校)

初めに、新川高校について、模試などが多く忙しい時期もありますが、基本的には課題は少なく、生徒たちに自由な時間を与えてくれていると思います。そのため、生徒たちは自分自身で、何を勉強するか決め、自学自習を進めることができます。また、補習・土曜講座もあり、自分に必要な講座を自分で取ることができ、このように、新川高校は自由かつ柔軟な制度を持っており、勉強するのにとても良い環境であると考えています。

次に、僕が高校生活の中で、どのように勉強していたのかについて伝えたいと思います。僕は、塾は使わず、主に新川高校の授業・補習・土曜講座の制度を利用して勉強をしていました。授業についてはとにかく真面目に、内容を100%吸収するつもりで受けて、補習・土曜講座は必要な科目をとれるだけ取り、定期的な復習や勉強の進まない苦手分野の理解、受験後半の追い込みなどに活用していました。特に、2月・3月は自習時間が過ぎてしまい、補習があったことで勉強を継続できたと感じます。また、自習の時間は積み重ねが必要不可欠や苦手科目に優先的に充てていました。僕の場合、高三当初苦手だった英語は夏休み前から取り組み、得意だった化学は三学期に入るまでほとんど授業・補習のみで勉強していましたが、両教科ともかなり点数を伸ばすことができました。それから、受験勉強をするうえで、参考書・問題集は欠かせませんが、僕は学校で配られたものを中心として、苦手だった英語の参考書と復習のための化学の問題集の二冊だけ、自分で追加で買い、試験の対策をしました。参考書・問題集を買うのはモチベーションの向上にもつながるのでおすすめです。過去問についても、大学の赤本や学校で配られるものも含め様々な問題に触れるとよいと感じます。僕は一間ずつじっくり理解することを心がけて、問題演習をしていました。

最後に、大学受験にしても何にしても目標を持つことが大事であり、自分の受験も志望校に合格したいという気持ちがあったからこそ頑張れたものであったと実感しています。そして、このような目標は通過点となり、我々がつたがいた後には、また新たな目標の足がかりとなると信じています。これからの大学受験にも、皆さんの力がやける未来のために、目標をもって進んでみてほしいです。

SHINKAWA SCHOOL LIFE



4月

入学式
始業式
課題・実力考査
進路適性検査(1年)

5月

遠足
体力テスト・身体計測
中間考査
AED講習会

6月

体育祭
読書週間
名古屋特別支援学校との交流
期末考査

7月

夏季補習(全学年)
終業式・保護者会

8月

文化祭
課題・実力考査
始業式・避難訓練

9月

学部学科ガイダンス(1年)

10月

新川大学講座(1年)
中間考査
修学旅行(2年)
奉仕活動(1年)

11月

読書週間
進路講演会(2年)
類型本登録(1・2年)
期末考査

12月

地域探究フィールドワーク(1年)
保護者会
終業式
冬季補習(全学年)

1月

始業式
課題考査(1・2年)

2月

学年末考査(1・2年)

3月

卒業証書授与式
高年齢者との交流授業(2年)
卒業生を囲む会(2年)
スポーツ大会(1・2年)
卒業式

入学式



スポーツ大会



修学旅行



卒業証授与式



体育祭



文化祭



遠足



学校の風景



高齢者の方との交流会



AED講習会



地域探究フィールドワーク

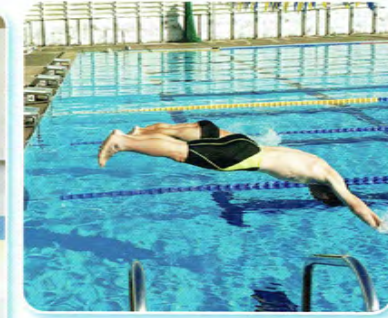




部活動 ~青春の汗・涙、そしてかけがえない仲間~

運動部

- 硬式野球
- サッカー
- バスケットボール
- バレーボール
- ソフトボール
- ハンドボール
- 硬式テニス
- 卓球
- バドミントン
- 陸上競技
- 水泳(競泳・水球)
- 剣道
- 柔道
- 弓道



- プラスバンド
- 茶華道
- バトン
- 美術
- 英語
- コンピュータ

文化部

部活動の活躍

令和5年度県大会以上の成績を収めた部活動



水泳部(水球)

全国大会出場

水泳部(水球)

東海大会出場

バトン部

県大会出場

硬式テニス部、陸上競技部、バドミントン部、弓道部、ソフトボール部、ハンドボール部

